

小学校高学年から  
中学生向け



自由研究  
オリジナル学習フォーマット

[制作] 日本経済新聞社

[制作協力] 東洋大学文学部教育学科教授 栗原 久  
株式会社 プラスエム 教育事業本部

## 基礎編①

# 「世界のお金を調べてみよう」に関連した基礎知識

※探究編テーマ1に取り組む際の参考にしてください。

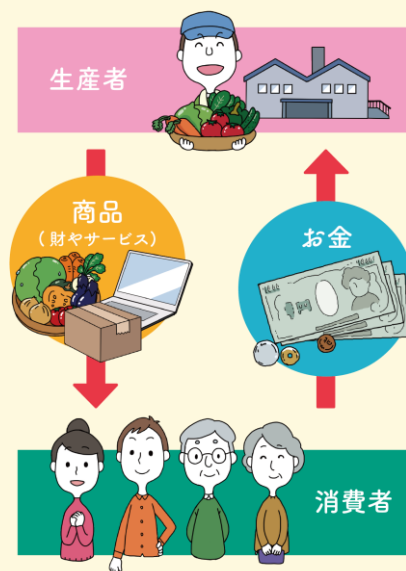
## お金について

### 【お金の役割】

○大昔、まだ世の中に「お金(通貨)」がなかった時代には、人々はモノとモノを交換合って生活していました。物々交換ですね。

○今のわたしたちは、お金を支払って、さまざまなモノやサービスを消費し、便利で豊かな生活を送っています。つまり、お金のやり取りを通して、生産者とわたしたち消費者がつながっている、と考えることができます。

○お金の代表選手といえば、お札や硬貨といった「現金通貨」があります。また、口座引き落としなどに使われる銀行預金は「預金通貨」といいます。



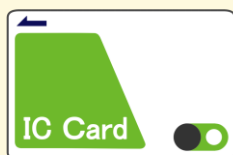
### 【キャッシュレスについて】

○現金（キャッシュ）を使わないで、お店での買い物やお金のやりとりができることを「キャッシュレス」と呼びます。キャッシュレスには、買い物の情報がデータとして残りお金の管理がしやすくなる、大量に現金を持ち歩かずに買い物ができるなどのメリットがあります。

○キャッシュレスによる支払いには、大きく分けて、次の3つの方法があります。

#### 前払い

スマートフォンやカードに入金(チャージ)しておいて、お店などの機械で読み取って支払う方法（プリペイドカード、電子マネーなど）



#### 即時払い

お店などの機械で読み取り、自分の銀行口座からすぐに支払う方法（デビットカードなど）



#### 後払い

カード会社が代金を立て替え、買った分だけ後からカード会社に支払う方法（クレジットカードなど）



○最近では、スーパーやコンビニエンスストア、乗り物や自動販売機など、キャッシュレスで買い物などができる場所や機会が増えており、少しずつ活用が広がっています。

○日本全国でキャッシュレスによる支払いを行っている割合は約24%（2018年）ですが、他の先進国と比べると低いようです。政府は2025年までにキャッシュレス比率を40%程度まで高める目標を掲げています。

#### 参考ウェブサイト

経済産業省・キャッシュレス説明資料

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/cashless/cashless\\_documents/](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/cashless/cashless_documents/)

### 「世界のお金を調べてみよう」に関連した基礎知識

※探究編テーマ1に取り組む際の参考にしてください。

#### かわせ そうば 外国為替相場について

##### 【為替相場とは】

○現在、世界で流通している通貨の種類は170から180程度、といわれています。世界中の国々がそれぞれ違う単位のお金を使っているわけですから、外国と貿易をしたり、海外旅行などをする場合には、通貨を交換することが必要になります。

○例えば、「1ドル = 110円」、「1ユーロ = 120円」というように、ある国の通貨と別の国の通貨を交換するときの比率を「為替相場（為替レート）」といいます。

○モノの値段と同じように、為替相場も需要（その国の通貨を手に入れたい人の量）と供給（その国の通貨を手放したい人の量）のバランスで決まります。為替相場には、それぞれの国の経済情勢だけでなく、政治や社会状況なども影響します。また、将来の為替相場の変動によって利益を得ることを目的にした取り引きもあり、為替相場は日々変動しています。

##### 参考ウェブサイト

日経マーケット／為替・金利  
<https://www.nikkei.com/markets/kawase/>

##### 【円高と円安】

○多くの国々で最も重視しているのが、アメリカ・ドルとの為替相場です。例えば、1ドル = 120円が130円になるのが「円安・ドル高」、100円になるのが「円高・ドル安」です。

○例えば、日本からアメリカに旅行し1万円をドルに両替する際に、円安（1ドル = 130円）の場合は77ドルにしかありませんが、円高（1ドル = 100円）になると100ドルに交換できるので、たくさん買い物ができますね。

○次に、日本からアメリカにゲームソフトを輸出し100ドルで売れた場合、円高（1ドル = 100円）の時は日本円で1万円の売り上げですが、円安（1ドル = 130円）の場合は13,000円となり、3,000円の違いがでてきます。円安になると輸出企業の業績がよくなり、株価も上がります。一方、輸入企業の場合は、円高の方が有利となり、円安はマイナスの要因となります。

##### 参考ウェブサイト

マネーの世界 教えて高井さん「為替相場って何？」  
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57578360S0A400C2I00000/>



「関心のある企業・応援したい企業を調べてみよう」に関連した基礎知識

※探究編テーマ2に取り組む際の参考にしてください。

企業について

【大企業と中小企業】

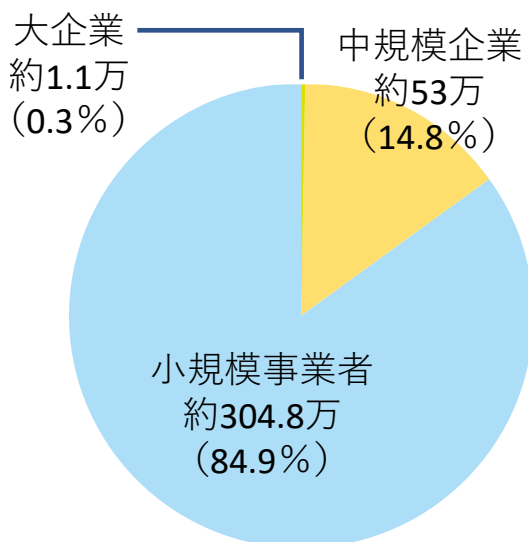
○日本全国には約359万社の企業があります（2016年）。規模別にみると、全体の99.7%が中小企業で、そのうち特に従業員数の少ない小規模事業者が全体の約85%を占めています。  
 [図1]

○従業員数でも、約7割が中小企業の従業員です（2016年）[図2]。中小企業が、日本全体の雇用の担い手として重要な役割をはたしていることがわかります。ただし、2019年の売上高についてみると、大企業が56%、中小企業が44%と逆転しています（中小企業白書2020）。

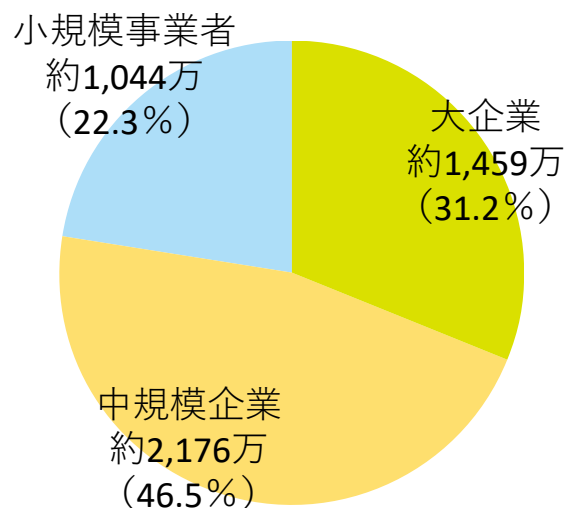
○このように「大企業」や「中小企業」といった呼び方をしますが、どのような基準で分けられるのでしょうか。「中小企業」については、法律により資本金（事業を始めるために用意したお金）と従業員数の基準が業種ごとに定められています。

○例えば、「製造業その他」の場合は、「資本金3億円以下または従業員300人以下」を「中小企業」、そのうち「従業員20人以下」を「小規模事業者」と定義しています。一方、大企業についての明確な定義はなく、一般的に中小企業以外の多額な資本金と多数の従業員をもつ企業を指すことが多いようです。

【図1】日本の企業数  
 (2016年・規模別)



【図2】日本の企業の従業員数  
 (2016年・規模別)



[出所]「2020年版中小企業白書・小規模企業白書」概要（中小企業庁）2020年4月

## 基礎編②

### 「関心のある企業・応援したい企業を調べてみよう」に関連した基礎知識

※探究編テーマ2に取り組む際の参考になしてください。

#### 企業について

##### 【企業の創業と倒産】

○企業の中には、新しく創業されたものもあれば、倒産や廃業するものもあります。ここ10年間の日本の企業の“<sup>しんちんたいしゃ</sup>新陳代謝”のようすを示す、以下のような企業調査会社のデータがあります。

この10年間で  
新たに生まれた企業は  
約**18**万社



[出所]帝国データバンクウェブサイト・日本企業のトビア

この10年間で  
倒産した企業は  
約**11**万社



[出所]同左

○「日本の企業の平均年齢は約24歳」というデータもあります。ちなみに、創業100年を超える企業は、日本全体の2%しかないそうです。近年では、世代交代が進まないまま社長が高齢になり、事業を引き継ぐことができずに、廃業や倒産に追い込まれるようなケースもあります。

##### 参考ウェブサイト

帝国データバンク・日本企業のトビア  
<https://www.tdb.co.jp/trivia/index.html>

#### 企業の社会的責任について

○経済活動の中心は「生産」と「消費」です。そのうち、企業はおもに「生産」をになっています。企業の多くは民間企業で、できるだけ多くの利益を得ることを目的に活動しています。

○同時に、企業には雇用や消費者の安全の確保をはじめ、様々な「企業の社会的な責任（CSR:Corporate Social Responsibility）」を果たすことが求められています。現在、多くの企業が取り組んでいるCSR活動は、「環境」「社会」「ガバナンス」の3つのキーワードで整理することができます。

(例)

環境：環境への影響が少ない製品づくり、廃棄物の削減、地球環境保全 など

社会：社会課題への取り組み、ボランティア活動、文化芸術の支援 など

ガバナンス：情報公開、社外取締役等による経営監視の仕組みづくり など

##### 参考ウェブサイト

日本経済団体連合会・企業の社会的責任  
<http://www.keidanren.or.jp/policy/csr.html>



# 「関心のある企業・応援したい企業を調べてみよう」に関連した基礎知識

※探究編テーマ2に取り組む際の参考にしてください。

## 株式について

### 【株式会社のしくみ】

○企業活動を行うためには、多くの資金が必要となります。企業がお金を集める方法には、大きく分けて「A. 銀行から借りる方法」と、「B. 多くの人から広く資金を集める方法」とがあります。このうち、Bで効率よく資金を集めるための方法の一つが「株式会社」という形態です。

○株式会社は、「株式」を発行することで得た資金を元に設立されます。株式はお金を出してくれた人に渡す証明書のようなもので、この証明書を保有する人を「株主」といいます。株主になると、出資した企業が得た利益の一部を「配当金」として受け取ることができたり、その会社の重要事項を決定する「株主総会」に出席し、意見を述べたり、経営方針などについて議決する権利をもつことができます。

### 【株価について】

○株式は、欲しい人と売りたい人との間で売買されます。

株式を集中的に売り買いする専門の場所を「証券取引所<sup>しょうけんとりひきじょ</sup>」といいます。そこでは、一定の資格を持った「証券会社」を通じて株式が売買されています。

○現在、日本では東京、名古屋、福岡、札幌の4か所の株式市場で株式の取引が行われていますが、中でも、東京証券取引所（東証）は、「プライム市場」、「スタンダード市場」、「グロース市場」の3つから構成される日本最大の証券取引所です。

プライム市場 グローバル企業向け

スタンダード市場 中堅企業向け

グロース市場 成長企業向け

○証券取引所では、毎日たくさんの株式が売買されており、その中で株式の価格である「株価」も決まっています。例えば、株式を買いたい人（買い手）が売りたい人（売り手）よりも多ければ株価は上がります。逆に、売り手が買い手よりも多ければ株価は下がります。株価が安い時に買い、値上がりした時に売ってその差額を利益として得ることも、株式を持つことの目的の一つです。

○証券取引所で株式が売買されるようになることを「上場<sup>じょうじょう</sup>」と呼び、その株式を発行している企業を「上場会社」といいます。上場するためには、一定の基準をクリアすることが必要となります。現在、東京証券取引所に上場している企業は約3,800社あります。

○私たちの社会には、新しい事業を興そうとする意欲とアイデアを持った人がたくさんいます。この人たちが資金を調達する場として、株式市場があります。投資家は、株式を購入することで、資金面から彼らの事業を支えます。株式投資は、その会社を応援することであり、社会参加の一つの方法でもあります。



## 基礎編②

### 「関心のある企業・応援したい企業を調べてみよう」に関連した基礎知識

※探究編テーマ2に取り組む際の参考にしてください。

#### 株式を見るための主なキーワード

につけい へいきん かぶか

#### 【日経平均株価】

○東京証券取引所プライムに上場している1,800社を超える株式の中から、各業界の代表的な225銘柄を選び出して、特別な計算方法で株価を平均したもの。日経平均株価のリアルタイムでの値動きは、以下のウェブサイトでチェックできます。

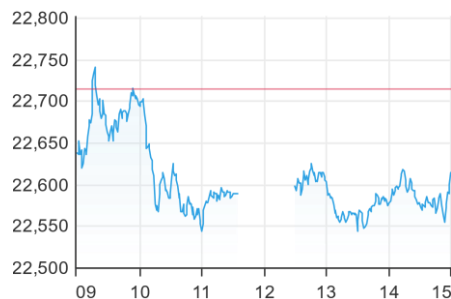
##### 参考ウェブサイト

日経電子版・マーケット

<https://www.nikkei.com/markets/kabu/>

日経平均株価の値動き  
(2020年7月7日の場合)

22,614.69  
▼-99.75  
始値 22,649.90  
高値 22,742.28  
安値 22,540.44



○日経平均株価の構成銘柄と、日経平均株価の値動きに対する業種別の影響の度合いについても、以下のウェブサイトから見るすることができます。

##### 参考ウェブサイト

日経平均構成銘柄

<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/component?idx=nk225>

業種ごとの株価への寄与度

<https://www.nikkei.com/markets/kabu/nidxprice/>

トピックス どうしよう かぶか しすう

#### 【TOPIX（東証株価指数）】

○東京証券取引所に上場された銘柄を対象として算出・公表されている株価指数。1968年1月4日の時価総額が「100」だったとすると現在の時価総額はどれぐらいの数字になるか、を示しています。

##### 参考ウェブサイト

日経上場インデックスファンドTOPIX

<https://www.nikkei.com/nkd/company/chart/?scode=1308>

##### 参考ウェブサイト

経済に関するやさしい動画解説シリーズ  
日経電子版 マネーの世界 教えて高井さん  
「株式って何？」

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO56900810X10C20A3I00000/>



# 「金融・経済から考えるSDGs」に関する基礎知識

※探究編テーマ3に取り組む際の参考にしてください。



## SDGs (エスディーゼーズ)

### 【SDGsの17の目標】

○2015年9月にニューヨークで開かれた国連総会で、日本を含む世界の国々が

### 「持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals)」

について、全会一致で合意しました。

○SDGsは、今地球上で起きているさまざまな問題を解決し、すべての人が、地球環境を保全しながら、よりよい生活を送ることができる世界を目指して取り組んでいくための目標です。具体的には、2030年までの達成に向けて、貧困や教育、環境、エネルギーなど、以下の17分野の目標が設定されています。

#### 【目標1】貧困をなくそう



地球上のあらゆる形の貧困をなくそう。

#### 【目標2】飢餓をゼロに



飢えをなくし、だれもが栄養のある食糧を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう。

#### 【目標3】すべての人に健康と福祉を



だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう。

#### 【目標4】質の高い教育をみんなに



だれもが公平に、良い教育を受けられるように、また一生に渡って学習できる機会を広めよう。

#### 【目標5】ジェンダー平等を実現しよう



男女平等を実現し、すべての女性と女の子の能力を伸ばし可能性を広げよう。

#### 【目標6】安全な水とトイレを世界中に



だれもが安全な水とトイレを利用できるようにし、自分たちでずっと管理していけるようにしよう。

#### 【目標7】エネルギーをみんなにそしてクリーンに



すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう。

#### 【目標8】働きがいも経済成長も



みんなの生活を良くする安定した経済成長を進め、だれもが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう。



## 基礎編③

### 「金融・経済から考えるSDGs」に関する基礎知識

※探究編テーマ3に取り組む際の参考にしてください。

#### 【目標9】産業と技術革新の基盤をつくろう



災害に強いインフラを整え、新しい技術を開発し、みんなに役立つ安定した産業化を進めよう。

#### 【目標10】人や国の不平等をなくそう



世界中から不平等を減らそう。

#### 【目標11】住み続けられるまちづくりを



だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちをつくろう。

#### 【目標12】つくる責任つかう責任



生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守れるよう、責任ある行動をとろう。

#### 【目標13】気候変動に具体的な対策を



気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう。

#### 【目標14】海の豊かさを守ろう



海の資源を守り、大切に使おう。

#### 【目標15】陸の豊かさも守ろう



陸の豊かさを守り、砂漠化を防いで、多様な生物が生きられるように大切に使おう。

#### 【目標16】平和と公正をすべての人に



平和でだれもが受け入れられ、すべての人が法や制度で守られる社会をつくろう。

#### 【目標17】パートナーシップで目標を達成しよう



世界のすべての人がみんな協力しあい、これらの目標を達成しよう。

#### 参考ウェブサイト

ユニセフ・学校のためのSDGsガイド

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

国連広報センター・2030アジェンダ

[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

### 「金融・経済から考えるSDGs」に関する基礎知識

※探究編テーマ3に取り組む際の参考にしてください。

#### 【SDGsのポイント】

○SDGsの主なポイントは以下のとおりです。

- ▶先進国や発展途上国に関わりなく、すべての国が共通に目標達成のために行動すること。
- ▶誰一人取り残さない（Leave no one behind）こと。
- ▶政府や企業、非政府組織（NGO）をはじめ、すべての人々がそれぞれの役割を果たすこと。
- ▶経済と環境と社会を一体のものとしてとらえ、統合的な取り組みを行うこと。
- ▶モニタリング指標（取り組みの進捗<sup>しんちよく</sup>状況を評価する目安）を定め、定期的に改善状況を確認し、評価・公表すること。

#### SDGs達成に向けた金融・経済の役割

○お金は社会を動かします。たとえば、宇宙空間利用が持つ可能性への期待が高まると、「今のうちに宇宙に関連する企業に投資しよう」と多くの人考えます。そうすると、多額の資金がこの分野の企業に集まり、多くの資源・人材がその開発に投入されるようになって、結果として宇宙開発が実際に促進されることにつながります。

○これは、SDGsでも同じです。17の目標達成のために、どのように資金を集め投入するかが課題となります。すでに、SDGsを意識して、環境問題（Environment）や社会問題（Social）を解決しようとしている企業で、企業統治（Governance）がしっかりしている会社に投資するという考え方が普及してきました。これを「ESG投資」といいます。水道整備や感染症対策など、特定の社会的課題を解決するために資金の用途を限定した「社会貢献債」も発行されています。

○「よりよい社会を構築するために限られた資金をどのように使うのか」を考えることは、「お金や経済の視点からSDGsに取り組むこと」につながります。



#### 参考ウェブサイト

SDGsジャーナル・3つの視点で見る目標解説  
<https://sdgs-support.or.jp/journal/sdgs/>  
東京書籍EduTown・5つの「P」で考えるSDGs  
<https://sdgs.edutown.jp/info/five-p.html>